

この講座は、**30-40歳代の妊娠**を考えている方、**妊娠高血圧症候群**と診断されたことのある方、**次の妊娠への不安**を抱えておられる方に、特に聞いていただきたい内容です。

第**3**回

日本妊娠高血圧学会 市民公開講座

主催

日本妊娠高血圧学会
第44回 学術集会

講演テーマ

妊娠高血圧症候群が
女性の未来の健康を教える
— あなたのからだのストレステスト —

※ 裏面の解説も是非ご覧ください。

参加要領

参加形式 現地参加 または オンライン参加

ライトキューブ宇都宮
2F 大会議室202

※当日参加も可能ですが、
できるだけ事前にお申し
込み願います。

Zoomウェビナーの
URLをお送りします

※事前にお申し込みが
必要です。

申し込み方法 右記QRコードまたは
URLからお申し込みください。

[https://us02web.zoom.us/webinar/register/
WN_xnaJMAPdRDC7sgBnpOoDeA](https://us02web.zoom.us/webinar/register/WN_xnaJMAPdRDC7sgBnpOoDeA)



参加費 無料

参加無料!

WEB参加OK

お気軽に
ご参加
ください!

座長

獨協医科大学 産科婦人科 教授

荒田 尚子

成瀬 勝彦

国立成育医療研究センター周産期・母性
診療センター 母性内科 診療部長

演者

2024 日
9/22
14:00~15:00

妊娠高血圧症候群が 女性の未来の健康を教える — あなたのからだのストレステスト —

妊娠中に高血圧を発症した場合、**妊娠高血圧症候群**と診断されます。この病気は妊娠中に高血圧となるだけでなく、肝臓や腎臓の働きが悪くなる、蛋白尿が出る、血小板の数が減る、脳出血が起こるなど母体の**全身のあらゆる臓器に影響がある病気**です。赤ちゃんの体重がなかなか大きくならなかったり、急に赤ちゃんの具合が悪くなったりする事もあります。

妊娠高血圧症候群と診断を受けた時、医師からは色々とても心配となるような説明を受けたのではないのでしょうか？中にはやむをえず早産でのご出産だった方、緊急の帝王切開でのご出産だった方もいらっしゃると思います。ただでさえ不安な中で受けた**医師や助産師からの説明はとても難しく**、今でも理解できていない部分がある方もいらっしゃるかもしれません。

妊娠高血圧症候群は決して珍しい病気ではありません。**妊婦さん20人に1人の割合で発症**すると言われており、1年間では15,000人くらいの方が診断を受けています。そして、一度妊娠高血圧症候群と診断された方、特に妊娠高血圧腎症と診断された方は、**その次の妊娠でまた妊娠高血圧症候群になるリスクが高い**ことが知られています。また、妊娠の際のリスクだけではなく、将来的な**高血圧や心血管系の病気にかかりやすい**ことがわかってきました。

今回の市民公開講座では、妊娠高血圧症候群という病気について改めて**わかりやすく解説**するとともに、**将来的なご自身の健康管理**についてお伝えします。日々の忙しい毎日の中、多くの女性のご自身のことが後回しになっているのではないのでしょうか？この市民公開講座をきっかけに、改めてご自身の健康管理について考えてみませんか？

参加をご希望の方は、表紙のQRコードから申し込みフォームに必要事項をご入力の上、送信ください。後日、受講者用URLをお送りします。参加受付は2024年9月ごろから開始予定です。日本妊娠高血圧学会のホームページ(<https://www.jsshp.jp/patient/>)でもご確認ください。多数のご参加を心よりお待ちしております。

日本妊娠高血圧学会
第44回学会学術集会運営事務局
有限会社 トリプルアイ
✉ jsshp44@medical-meeting.jp

お問い合わせ